

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	02 10 05	中期総合計画主要施策番号	4-02,4-03	担当課	部・課	企画部 生活文化課	
事業名	文化施設管理運営事業(美術館)				内 線	2846	
					E-mail	seibun@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S44 ~	根拠法令等	博物館法、長野県信濃美術館条例				
実施方法	委託(指定管理)((財)長野県文化振興事業団)					国庫・ 県単	県単独事業

事業の概要等	目的（必要性）	・施設利用者（県民・文化団体等）が快適かつ安全に利用できる施設運営を行う。 ・県有財産である美術収蔵品を適切に管理する。 ・優れた美術作品の体系的な展示公開や教育普及事業により、県民の美術に対する理解を深め、芸術文化の振興を図る。
	対象	県民・文化団体等
	目指すべき姿	県立美術館の管理運営により、優れた美術作品の鑑賞の機会及び発表の機会を広く県民に提供し、心豊かな暮らしの実現を目指す。 【参考】県立文化施設の利用者数のH20～24年度累計目標：6,323,000人
	事業内容	信濃美術館の次に掲げる業務を指定管理者が行う。 施設設備の維持管理、利用許可及び利用料金の徴収等、 展覧会の開催等に関すること

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度（当初）	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額（A）	千円	146,901	151,153	145,827	・管理運営費：67,555千円
	決算額（B）	千円	143,182	151,153		・展覧会開催費：66,853千円
	B（H24はA）のうち一般財源	千円	141,530	117,153	113,312	・修繕費：16,745千円
	概算人件費					
	概算事業費（B（H24はA）+ C）	千円	147,341	155,282	149,956	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度（見込）	左記以外のH23年度実績
	入館者数（貸館を除く）（成）	人	228,619	161,910	126,596	・カフェやミュージアムショップを運営し、利用者の利便性の向上を図った。
	企画展数（活）	本	6	6	5	・移動展（富士見町、高山村）を実施した。
	教育普及事業（成）	人	12,733	10,110	12,347	・収蔵品2点の修復を行った。
	<効率指標（単位当たりコスト等）> 入館者一人当たりのコスト	円/人	644	959	1,185	（効率指標 算出式） 概算事業費/入館者数

事業の成果	事業の目標（H23）	事業成果・評価	評価区分
	信濃美術館の適切な管理運営を行うとともに、多彩な企画展の開催などにより、優れた美術品の鑑賞機会を広く県民に提供する。 ・入館者数目標値：年間164,600人程度（貸館を除く） ・教育普及事業参加者数：過去3年平均 15,118人程度 【参考】県立文化施設の利用者数のH20～24年度累計目標：6,323,000人	・貸館以外入館者数は161,910人で、目標値を2,690人下回った。これは東日本大震災の影響が大きいと考えられる。 ・富士見町、高山村への移動展を実施し、優れた美術作品の機会を広く提供した。鑑賞者は864人で、98%の方に「満足・ほぼ満足」の回答を得た。以上から「概ね期待どおり」であった。	b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・優れた美術作品の展示、多彩な企画展の開催、学校教育との連携など、県立美術館としての役割発揮が期待されている。 ・21年度から5年間で期間とする2回目の指定管理者制度が導入され、効率的かつ柔軟な施設運営が行われている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善（有効性・効率性）の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析（今後の課題、取組方針等）	・本館は築45年以上経過し、老朽化に伴う改築等を検討していく必要がある。 ・引き続き、県内外の広報活動と将来の来館者となる青少年への教育普及活動を充実させていく必要がある。 ・県立美術館として、県内美術館のネットワーク化により県内美術館の活性化を図っていく。
	特記事項	